



## 院長の1分レクチャー17

### 【子宮頸がんワクチン】

子宮頸がんは20-30代女性の命を奪うとても怖いがんです。このがんを防ぐために開発された子宮頸がんワクチンは、定期接種（無料）として小学6年生から高校1年生の女子が対象になっています。

このワクチンの導入当初、さまざまな副反応が出るとマスコミが騒ぎ立てたために、わが国は「子宮頸がんワクチン後進国」になってしまいました。

しかし、**報告された症状は、接種していない子でも同じ割合で認められることがその後の調査で分かりました。つまり、子宮頸がんワクチンが原因ではなかった**のです。

このワクチンがとても効果的だということは証明されています。しかし、そういったプラスの情報はあまり報道されないため、接種せずに対象年齢を過ぎてしまった子がたくさんいます。

もともと高価なワクチンなので、3回の接種を自費で行うと約5万円かかります（命を救えると思えば安いものですが、、）。特に、今年、高校生になった子は早めに開始しないと無料のうちに接種が終わりません。

この機会にご家族で話し合ってみませんか、お子さんの将来のことを。

- ①問題視された症状は子宮頸がんワクチンが原因ではなかった。
- ②無料で接種できるのは小学6年生～高校1年生の女子です。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか  
こどもクリニック